

厚労省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業について

福島県立医科大学 疼痛医学講座は、平成29年度から厚労省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業に採択され、慢性疼痛診療の普及に向けて取り組んでいます。

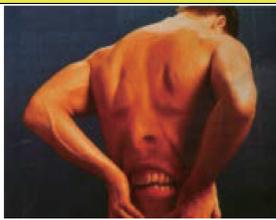
平成29年度は、福島県立医科大学と札幌医科大学が連携を結び、「北海道・東北地区」として活動を進めました。北海道・東北地区は、他の地域と比較し慢性痛の理解が十分でないのでは?と考え、それぞれの地区で講演会を企画しました。北海道地区では事業の一環として「慢性疼痛センター」を設立し、その記念講演と致しました。福島では郡山市にて、全3回の講

演会を実施致しました。また、お互いがどのようなことに取り組んでいるのかを知るために札幌医大・星総合病院それぞれの施設を相互訪問し、症例検討等を含めた合同カンファレンスを開催しました。

平成30年度は福島県立医科大学、東北医科薬科大学、仙台ペインクリニック、星総合病院が連携し、事業に取り組んで参りました。今年度の目標は、東北全体へ慢性疼痛への理解を深めることです。東北6県の医師会・看護協会、理学/作業療法士学会など関係職種へ本事業の取り組みを案内致しました。また、各県の整形外科・麻酔科を有する総合病院、疼痛治療

厚労省 平成30年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業

慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて
《 講演会・研修会 》



- 組織損傷は治っているのに、痛みが続く
- こんな慢性の痛みで苦しんでいる患者さんをどのように理解して、どのように治療するのか

講演会 (医療関係者のみ、申し込み不要、無料)

- 講演1：痛みセンターの必要性と地域医療連携モデルの構築
- 講演2：慢性疼痛センターでの慢性痛治療の実際とその成績

日程	時間	場所
2018年9月2日(日)	13～15時	TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口(ホール8A)
2018年10月6日(土)	13～15時	郡山市民交流プラザ大会議室1(ビッグアイ7F)

研修会 (医療関係者のみ、申し込み必要、無料)

- 慢性疼痛症候群とは?
- Red flagの評価
- 慢性疼痛の薬の使い方
- 慢性疼痛では痛み以外の評価が必要
- 補償体系・疾病利得の評価
- 慢性疼痛患者との実践会話
- 慢性疼痛における運動療法

グループでのディスカッションもあります。明日からの診療に役立ててください。

日程	時間	場所
2018年11月25日(日)	10～15時	仙台市中小企業活性化センターAER6F セミナールーム2
2018年12月9日(日)	10～15時	ポラリス保健看護学院 3F会議室 (星総合病院敷地内)
2019年1月6日(日)	10～15時	仙台市中小企業活性化センターAER6F セミナールーム1
2019年1月13日(日)	10～15時	ポラリス保健看護学院 3F会議室 (星総合病院敷地内)

に取り組むクリニックなどへ、講演会・研修会の案内を致しました。今年度の事業では、仙台市・郡山市で各1回ずつの講演会と各2回の研修会を実施しました。福島県郡山市での講演会に遠路青森県から参加して下さった先生や、講演会・研修会両方にご参加下さる先生など、東北地方で熱心に活躍される先生方との繋がりを作ることができました。

また、平成30年度の事業では、コーディネーターを配置することが叶いました。まずは慢性疼痛患者について理解してもらうことから始めていますが、将来的には地域連携まで担って活躍して頂けることを期待しています。現在は、日常診療の中でコーディネーターのあり

方を模索している段階です。

年度内に「動機づけ面接」の講演会を行うことができました。慢性疼痛を訴える患者さんの診療に役立つものと信じています。

今後は、今年度の事業でつながることができた皆さんとともに、より多くの医療職へ慢性疼痛治療への啓発を行い、東北地方での慢性疼痛診療体制構築に向けてどのように進めていくべきか、東北全体で検討していきたいと考えております。

【慢性疼痛診療体制構築モデル事業構想】

